

福岡県歯科技工士会 学術大会

CAD/CAM についての技工士の現状と、これらの CAD/CAM の未来について

光宗 浩

技工士学校の入学者数も最多時から半数以下に減少、歯科技工士の人材確保は一層困難な状況に陥ると予想され、労働集約型である同業においては致命的あると言える。一方、工業界では労働負荷を機械化、CAD/CAM 化によって軽減した歴史があり、歯科技工においても近年では十分な精度と安定性を確保できる状況になった。

自費診療を中心に展開された CAD/CAM 化であったが、平成 26 年度診療報酬改定では CAD/CAM 冠が保険収載されるに至った。

今後、一層進むものと思われる CAD/CAM 機器の潮流をお話しすると共にロストワックス法が主流である日本の保険技工物製をターゲットに開発された DORA/WAXY の有用性を提案したい。

CAD/CAM についての特徴や長所、短所についての講演、及び実演

高瀬 純一

CAD/CAM システムの説明後、写真でのスキャナーのスペックの紹介、設計ソフトの特徴を説明後、写真での加工機のスペックの紹介、切削可能な材料の種類及び切削時間の説明、オープンシステムの解説

CAD/CAM システムの特徴 4 つを各項目別に説明後、単冠、Br を想定したスキャン時間、設計時間のシミュレーション、効率向上が計れるシステムのご案内、加工機の切削時間のシミュレーション (WAX,ハイブリッドレジブロック)

各メーカーブロックを使用しての再製率、再製理由の説明後、実機を使いデモ実施

デモ内容

単冠 (CAD/CAM 冠を想定) の製作 スキャナーを使用してスキャンを実施、設計ソフトを使用しての設計を実施、設計したデーターを CAM ソフトにより CAM 計算後加工機によりハイブリッドレジブロックのミリングを実施

Br (ロスト WAX 法を想定) の製作 スキャナーを使用してスキャンを実施、設計ソフトを使用しての設計を実施、設計したデーターを CAM ソフトにより CAM 計算後加工機により WAX ディスクのミリングを実施。